

JASDAQ 銘柄コード 7564

2011年3月期 第2四半期決算説明会

～独自の商品開発で他店との差別化を図り客数拡大を目指す～



株式会社ワークマン

2010年11月5日

ご説明内容

- ・第2四半期決算の概要P3~P10
- ・2011年3月期決算の見通しP11~P13
- ・取組み状況P14~P18
- ・第2四半期決算の詳細P19~P24

第2四半期決算の概要

2011年3月期決算の見通し

取組み状況

第2四半期決算の詳細

決算の概要1

第2四半期累計期間 4月～9月



<百万円、%>

	2010年3月期		2011年3月期			
	第2四半期累計期間		第2四半期累計期間			
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	予想	予想比
チェーン全店売上高	22,309	△7.9	24,361	+9.2	23,432	+4.0
(既存店売上高)	—	△10.6	—	+7.2	(+3.1)	(+4.1)
営業総収入	15,589	△9.2	17,353	+11.3	16,795	+3.3
販売費及び一般管理費	3,462	△1.7	3,709	+7.1	3,728	△0.5
営業利益	1,364	△26.7	1,808	+32.5	1,554	+16.3
経常利益	1,785	△22.9	2,254	+26.3	1,968	+14.6
特別損失	12	△28.6	442	—	473	△6.6
四半期純利益	950	△23.1	939	△1.2	766	+22.5
1株当たり四半期純利益	46円60銭		46円03銭		37円58銭	

※2011年3月期第2四半期累計期間の予想値は、2010年8月5日発表の業績予想数値を使用しております。

決算の概要2

第2四半期会計期間 7月～9月



<百万円、%>

	2010年3月期		2011年3月期	
	第2四半期会計期間		第2四半期会計期間	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比
チェーン全店売上高	10,401	△7.6	11,594	+11.5
(既存店売上高)	—	△10.7	—	+9.6
営業総収入	7,322	△8.0	8,217	+12.2
販売費及び一般管理費	1,697	△3.7	1,869	+10.1
営業利益	588	△20.6	764	+29.9
経常利益	789	△17.1	974	+23.4
特別損失	5	+33.8	12	+135.8
四半期純利益	404	△18.8	492	+21.7
1株当たり四半期純利益	19円84銭		24円15銭	

第2四半期決算のポイント

出店状況

- 開店 11店舗、閉店 4店舗
- スクラップ&ビルド(既存店の活性化) 1店舗
- 2010年9月末 656店舗
(2010年3月末比 +7店舗、2009年9月末比 +22店舗)

店舗運営形態

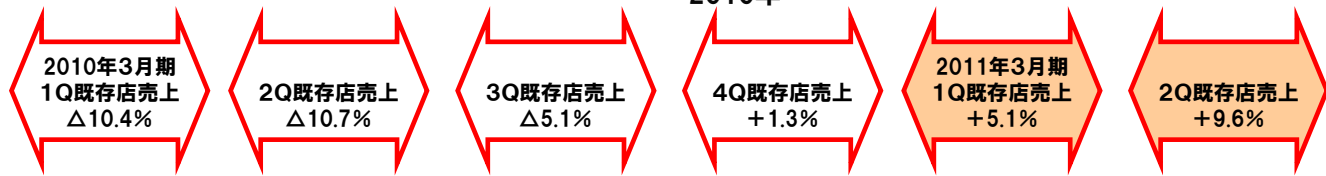
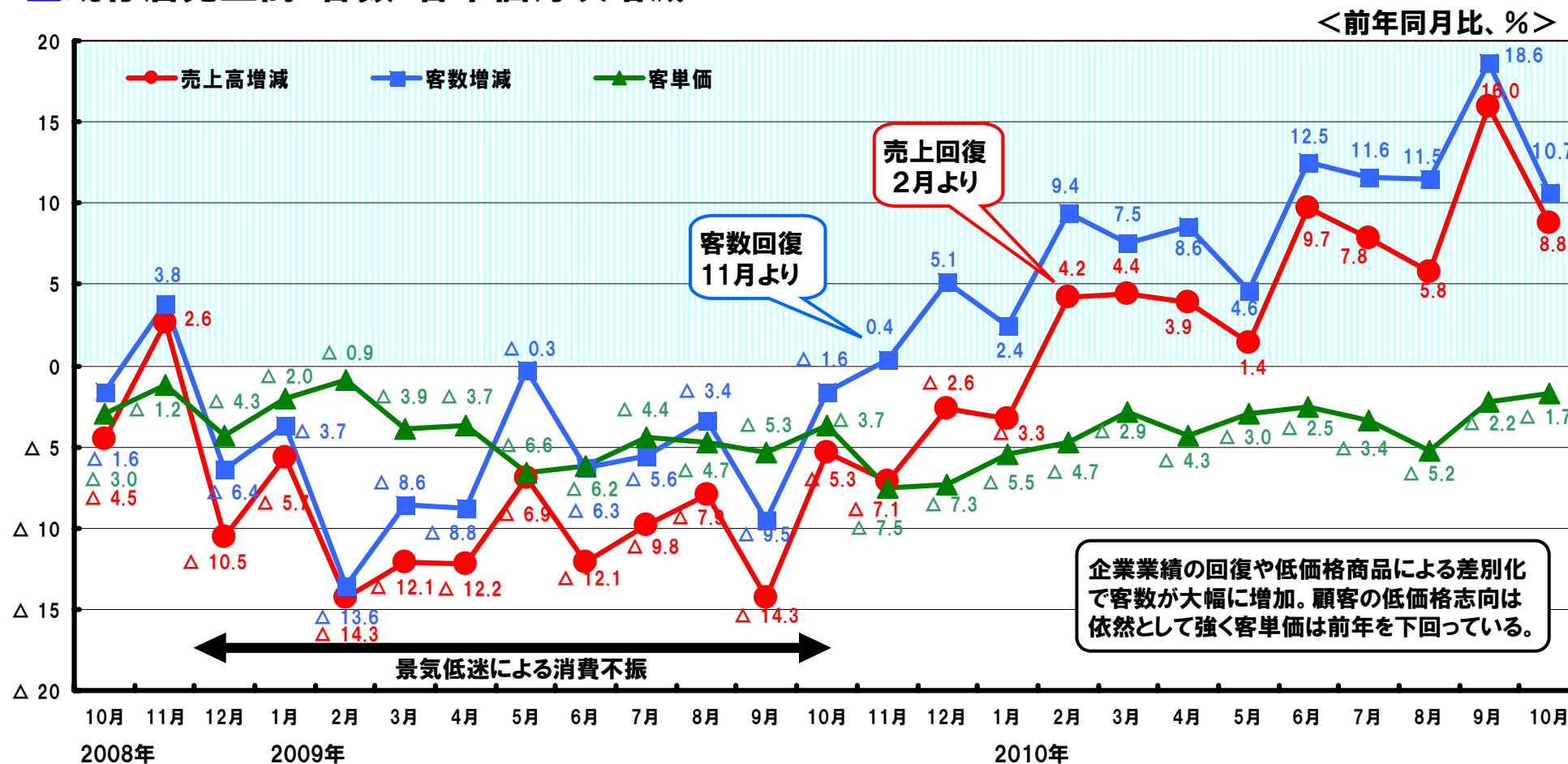
- フランチャイズ・ストア(FC店舗)2010年9月末 502店舗
(2010年3月末比 +3店舗、2009年9月末比 △5店舗)
- FC店舗比率 76.5%
(2010年3月末比 0.4ポイント減、2009年9月末比 3.5ポイント減)

商品力強化

- エブリデー・ロー・プライス(EDLP)商品を新規に 106アイテム開発し低価格政策を推進
EDLP商品売上高 101億52百万円(前年同期比+29.4%)
- チェーン全店売上高に占める構成比 41.7%(前年同期比 6.5ポイント増)
- 販売点数構成比 56.3%(前年同期比 5.8ポイント増)

月次推移と要因

■ 既存店売上高・客数・客単価月次増減



販売状況 第2四半期累計期間 4月～9月

チェーン全店売上高 243億円

<前年同期増減率>

	チェーン全店	既存店
売上高	+9.2%	+7.2%
客数	+13.5%	+11.2%
1日当たり平均客数	—	100人 (+10人)
客単価	2,186円	2,194円
	△3.7%	△3.6%
1品単価	777円	779円
1人当たり買上点数	2.8点	2.8点

<前年同期増減率>

チェーン全店 商品別売上	2010年3月期 第2四半期累計期間	2011年3月期 第2四半期累計期間
ファミリー衣料	△6.9%	+10.3%
カジュアルウエア	△11.1%	+16.4%
ワーキングウエア	△10.0%	+6.9%
履物	△4.4%	+8.4%
作業用品	△9.6%	+12.0%
その他	+7.4%	△4.6%
合計	△7.9%	+9.2%

※1日当たり平均客数は、運営形態により営業日数が異なる為、概数を記載しています。

商品別売上前年同月比

既存店前年同月比と今期の要因

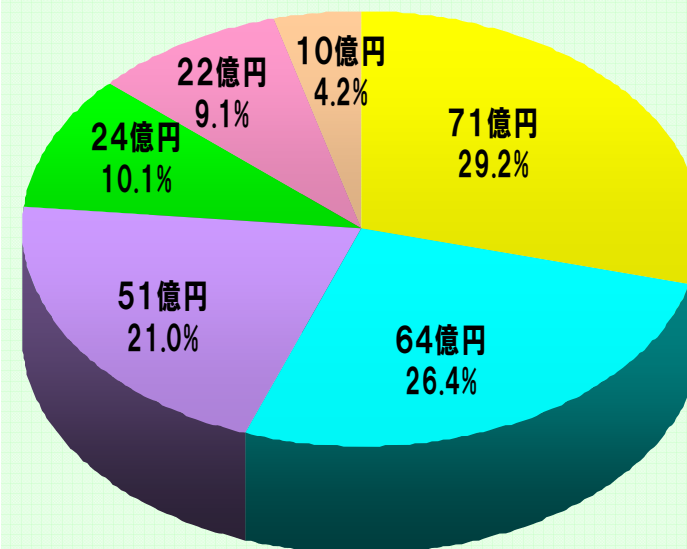
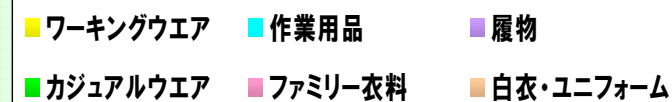
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	要 因
売 上	+3.9%	+1.4%	+9.7%	+7.8%	+5.8%	+16.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・製造業を中心とした企業業績の回復。 ・商品政策(EDLP)の効果で他店との差別化推進。 ・客数の大幅な増加。 ・景気の先行き不安から、客単価の下落は続く。
客 数	+8.6%	+4.6%	+12.5%	+11.6%	+11.5%	+18.6%	
客 単 価	△4.3%	△3.0%	△2.5%	△3.4%	△5.2%	△2.2%	
ファミリー衣料	△3.4%	+0.6%	+10.2%	+12.6%	+14.3%	+17.1%	<ul style="list-style-type: none"> ・夏物衣料品の販売好調。特に消臭や吸汗速乾加工などの機能性衣料の販売増。 ・販売予測データ活用による売場作りで、メッシュ靴下、半袖Tシャツの販売数量の大幅増。 ・ワーキングウエアは低価格帯が牽引。
カジュアルウエア	△9.1%	+6.5%	+20.1%	+20.5%	+20.3%	+26.8%	
ワーキングウエア	△4.5%	△0.9%	+9.4%	+8.5%	+8.7%	+8.6%	
履 物	+5.7%	+1.5%	+7.4%	+2.8%	+1.7%	+19.5%	<ul style="list-style-type: none"> ・売場改装効果。 ・新商品の安全スニーカーやゴム製の作業手袋が好調。
作業用品	+19.5%	+4.9%	+8.9%	+3.9%	+2.2%	+20.8%	
そ の 他	+1.7%	△13.7%	+2.0%	+9.1%	△5.8%	+0.6%	<ul style="list-style-type: none"> ・前年の使い捨てマスク特需の反動。

商品別売上構成

■チェーン全店商品別売上構成比前年同期比較 (%)

		2010年3月期 第2四半期 累計期間	2011年3月期 第2四半期 累計期間	前年同期増減
衣料	ファミリー衣料 肌着・靴下・帽子・タオル・ エプロンなど	9.0	9.1	+0.1
	カジュアルウエア ポロシャツ・Tシャツ・ハイネック シャツ・ブルゾンなど	9.5	10.1	+0.6
	ワーキングウエア 作業ジャンパー・作業ズボン・ つなぎ服・蓑衣料など	29.8	29.2	△0.6
用品	履物 安全靴・地下足袋・長靴・布靴・ 安全スニーカーなど	21.2	21.0	△0.2
	作業用品 軍手・革手袋・加工手袋・合羽・ ヘルメットなど	25.7	26.4	+0.7
その他	白衣・ユニフォーム 食品白衣・医療白衣・オフィス ユニフォーム・介護衣料など	4.8	4.2	△0.6
合計		100.0	100.0	

チェーン全店売上高243億円



※金額は表示単位未満を切り捨てております。

第2四半期決算の概要

 **2011年3月期決算の見通し**

取組み状況

第2四半期決算の詳細

決算の見通し



<百万円、%>

	2010年3月期		2011年3月期		
	金額	前期比	修正予想	前期比	期初予想
チェーン全店売上高	47,675	△3.6	51,000	+7.0	49,805
(既存店売上高)	—	△6.4	—	+5.2	(+2.3)
営業総収入	33,319	△4.3	36,654	+10.0	35,766
販売費及び一般管理費	7,059	△0.5	7,593	+7.6	7,569
営業利益	3,561	△8.6	4,187	+17.6	3,899
経常利益	4,434	△8.1	5,060	+14.1	4,754
特別損失	113	+55.4	534	+370.2	582
当期純利益	2,482	△8.4	2,544	+2.5	2,368
1株当たり当期純利益	121円69銭		124円72銭		116円08銭
1株当たり配当金	37円00銭		37円00銭		37円00銭

2011年3月期決算の見通しポイント

売上計画

- チェーン全店売上高 期初予想498億円→510億円(前期比 +7.0%)へ上方修正
- 既存店売上高前期比 +5.2%を想定
 - 〃 客数前期比 +10.0%~+8.0%を想定
 - 〃 客単価前期比 $\Delta 4.5\% \sim \Delta 2.5\%$ を想定
- 下半期チェーン全店売上高前年同期比+5.0% 既存店前年同期比+3.4%を想定
(2010年3月期下半期実績 チェーン全店 +0.4% 既存店 $\Delta 2.4\%$)

利益計画

- 販売上位アイテムを中心に 3億60百万円原価低減
フランチャイズ・ストア荒利率率 35.1%(前期比 0.2ポイント向上)
ロイヤリティ収入 4億62百万円増加(前期比 9.1%増)
- 業務受託収入 1億56百万円増加(前期比 7.7%増)
- 特別損失
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 4億16百万円計上
(第1四半期決算で計上済み)

第2四半期決算の概要

2011年3月期決算の見通し

 **取組み状況**

第2四半期決算の詳細

出店計画

2011年3月期計画

- 開店 24店舗、閉店 5店舗で、668店舗(前期末比 +19店舗)
人口の多い、南関東、近畿エリアのドミナント形成と新規エリアへの進出で客数拡大
- スクラップ&ビルド(既存店の活性化) 2店舗

■出店状況

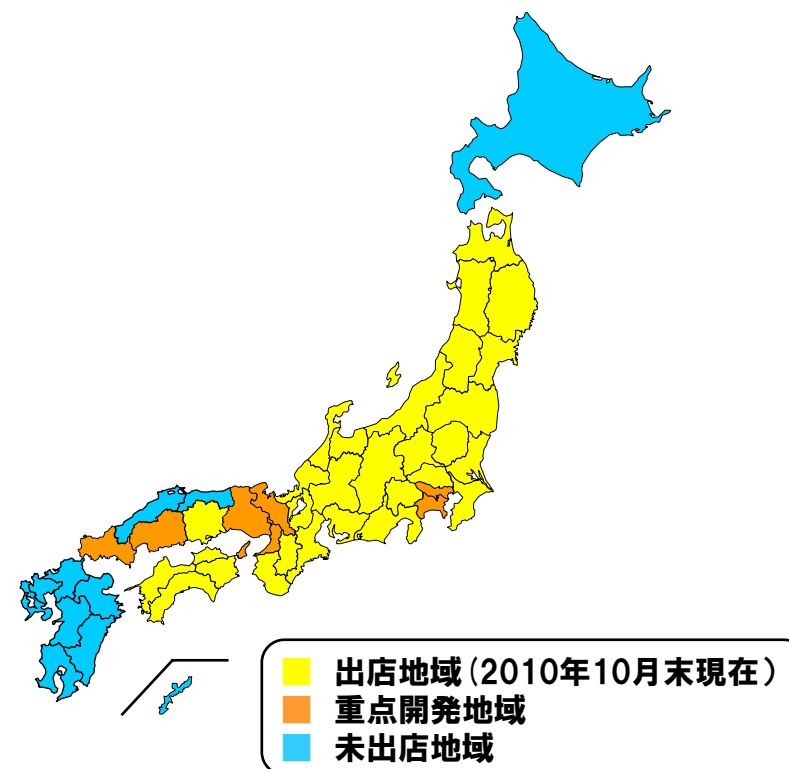
地 域	<店舗数>		
	4月~10月 出店実績	開店準備中 (契約済)	通期見通し
東 北	0	1	1
関 東	4	4	9
中 部	1	1	3
近 畿	4	0	5
中 国	3	3	6
合 計	12	9	24

※通期見通しの地域毎の内訳は、2010年10月末現在の出店実績と契約状況を踏まえて見通しを立てております。

■スクラップ&ビルド(既存店の活性化)

2010年9月 韮崎店(山梨県 店舗面積 80坪→100坪)

2011年3月 相馬店(福島県 店舗面積 60坪→100坪)



フランチャイズ(FC)化の推進

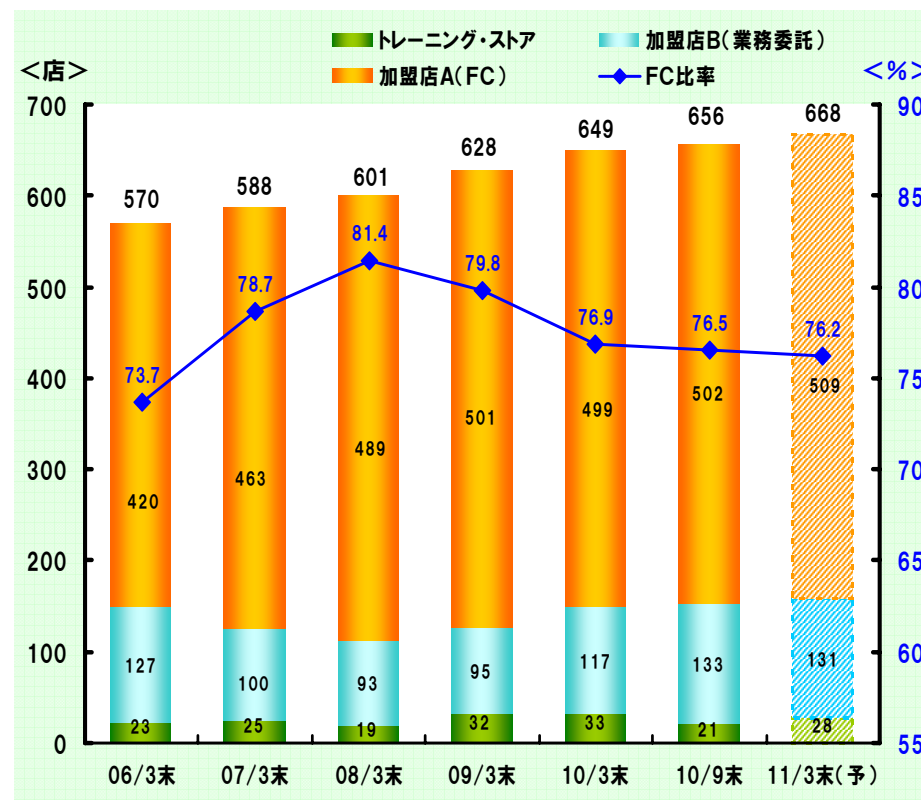
2011年3月期計画

- フランチャイズ・ストア(加盟店A契約)509店舗(前期末比 +10店舗)
- 直営店(加盟店B契約店舗、トレーニング・ストア)159店舗(前期末比 +9店舗)

FC化状況

・4月～9月の店舗運営形態の推移

	<店>		
	増加	減少	増減合計
加盟店A(FC)契約 (内B契約からの変更)	+17 (8)	△14	+3
加盟店B(業務委託)契約 (内A契約からの変更)	+29 (4)	△13	+16
トレーニング・ストア	+16	△28	△12



商品政策

独自の商品開発で他店との差別化を図り、客数拡大を目指す

■エブリデー・ロー・プライス(EDLP)商品の強化

お客様に支持される商品の開発

- ・低価格志向に対応した商品
- ・機能性を高めた商品



コア商品の開発
売場作りの強化

■商品の差別化推進

PB商品「WORKMAN BEST」の開発

- ・統一した商品イメージ
- ・ワークマンでしか購入出来ない商品



他店との差別化
来店客数の増加

■商品開発の方向性

コスト削減による利益率向上

商品の安定供給

原価上昇リスクへの備え



海外直接取引の開始
生産国の分散化

エブリデー・ロー・プライス(EDLP)商品の推進

2011年3月期計画

■チェーン全店売上高に占める構成比 43.0%(前期実績38.2%、前期比4.8ポイント増)

■EDLP販売状況

	2010年3月期第2四半期実績		2011年3月期第2四半期実績			2011年3月期通期計画	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	前年同期比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
EDLP合計	7,847	35.2	10,152	41.7	+29.4	21,400	43.0

■EDLP商品開発状況

今期は280アイテムを計画
(9月末現在 106アイテム)

■販促の集中でコア商品を拡販

- ・ラジオCM、店内放送、折込チラシ、店置きチラシ、商品カタログでの紹介
- ・売場レイアウトの見直しと、機能訴求POP(ショーカード等)で商品提案

東レ「ソフトサーモ」使用
あったかインナー
(長袖シャツ・半袖シャツ・長ズボン下)

売価
780円

販売計画数
22万着

展開時期
2010年9月～



裏起毛ハイネックシャツ

売価
499円

販売計画数
30万着

展開時期
2010年10月～



第2四半期決算の概要

2011年3月期決算の見通し

取組み状況

第2四半期決算の詳細

貸借対照表1



<単位:百万円>

資産の部	2010年3月期 期末	2011年3月期 第2四半期末	増減	増減要因
流動資産	20,723	21,752	1,029	
現金及び預金	11,752	13,264	1,511	
加盟店貸勘定	4,191	3,870	△321	対象店舗が12店舗減少(453店舗→441店舗) 1店舗当たりの貸付金額が約48万円減少
商品	3,962	3,719	△242	流通センター在庫が2億82百万円減少 店舗在庫は直営店4店舗増加により約40百万円増加
固定資産	13,289	13,575	286	
有形固定資産	6,789	6,809	19	
建物(純額)	2,563	2,470	△92	出店・閉店状況 出店11店舗、S&B1店舗、閉店4店舗 出店形態(S&B含む) 建物リース12店舗
構築物(純額)	648	701	52	資産除去債務会計基準の適用により取り壊し費用の未償却残高相当額1億23百万円(建物40百万円、構築物83百万円)計上
土地	2,966	2,966	—	
リース資産	302	380	77	3店舗で90百万円計上
無形固定資産	113	104	△8	ソフトウェア償却費を計上
投資その他の資産	6,386	6,661	275	
差入保証金	5,336	5,418	81	建物リース契約での地主への建設協力金の差し入れ
繰延税金資産	324	516	192	資産除去債務の計上で税効果会計を適用
資産合計	34,012	35,327	1,315	

貸借対照表2



<単位:百万円>

負債/純資産の部	2010年3月期 期末	2011年3月期 第2四半期末	増 減	増 減 要 因
流動負債	6,101	6,580	478	
買掛金・加盟店買掛金	2,427	2,723	295	チェーン全店仕入高3月末より2億99百万円増加
未払法人税等	864	1,090	226	
その他	1,404	1,400	△4	
未払金	932	821	△110	
固定負債	1,412	2,065	652	
リース債務	313	393	80	
資産除去債務	—	549	549	資産除去債務会計基準の適用
負債合計	7,514	8,645	1,131	
株主資本	26,497	26,681	184	
純資産合計	26,498	26,682	184	自己資本比率75.5%(2.4ポイント減少)
負債純資産合計	34,012	35,327	1,315	

キャッシュ・フロー計算書

<単位:百万円>

	2010年3月期 第2四半期累計期間	2011年3月期 第2四半期累計期間	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,202	2,543	1,340
投資活動によるキャッシュ・フロー	△384	△268	115
財務活動によるキャッシュ・フロー	△769	△763	6
現金及び現金同等物の増加額	49	1,511	1,462
現金及び現金同等物の期首残高	9,731	11,752	2,020
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,780	13,264	3,483

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー(前年同期比)

- ・資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額で4億16百万円増加
- ・棚卸資産が減少した事により2億33百万円増加
- ・仕入債務が増加した事により2億78百万円増加
- ・法人税等の支払額が減少した事により1億26百万円増加

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー(前年同期比)

- ・有形固定資産の取得による支出が1億15百万円減少

損益計算書1



<単位:百万円、%>

	2010年3月期 第2四半期累計期間		2011年3月期 第2四半期累計期間			増減要因
	金額	百分比	金額	百分比	前年同期比	
営業収入	3,683		4,052		+10.0	
加盟店からの収入	2,380		2,672		+12.2	加盟店期中平均店舗数 当第2四半期501店舗、前第2四半期509店舗 8店舗減 加盟店売上高 当第2四半期203億4百万円、前第2四半期191億 79百万円 5.9%増
その他の営業収入	1,302		1,379		+5.9	チェーン全店仕入高前年同期比6.6%増加 業務受託収入6.9%増加
売上高	11,905		13,301		+11.7	
直営店売上高	3,129	(100.0)	4,057	(100.0)	+29.6	直営店期中平均店舗数151店舗(28店舗増加)
加盟店向け商品供給売上高	8,776		9,243		+5.3	加盟店売上高5.9%増
営業総収入	15,589	100.0	17,353	100.0	+11.3	
直営店売上原価	1,985	12.7	2,591	14.9	+30.5	
加盟店向け商品供給売上原価	8,776	56.3	9,243	53.3	+5.3	加盟店向け商品供給売上高と同額を計上
売上原価	10,762	69.0	11,834	68.2	+10.0	

損益計算書2



<単位:百万円、%>

	2010年3月期 第2四半期累計期間		2011年3月期 第2四半期累計期間			増減要因
	金額	百分比	金額	百分比	前年同期比	
売上総利益	(1,143)	(36.6)	(1,466)	(36.1)	+28.2	仕入れ割戻しの減少で売上総利益率 0.5ポイント悪化
営業総利益 (営業収入+売上総利益)	4,826	31.0	5,518	31.8	+14.3	
販売費及び一般管理費	3,462	22.2	3,709	21.4	+7.1	増減要因 人件費 約4,300万円増加 販売費 約3,700万円増加 直営店期中平均28店舗増 約1億9,300万円増加 流通センター運営費用 約700万円減少 一般管理費 約1,900万円減少
営業利益	1,364	8.8	1,808	10.4	+32.5	
営業外収益	434	2.8	461	2.7	+6.1	
営業外費用	14	0.1	15	0.1	+7.5	
経常利益	1,785	11.5	2,254	13.0	+26.3	
特別利益	1	0.0	0	0.0	△16.1	
特別損失	12	0.1	442	2.6	-	閉店店舗売却損 約300万円 固定資産除却損 約130万円 減損損失 営業不振店5店舗、閉店予定店3店舗、転貸店1店舗、 遊休店3店舗で約2,200万円 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 4億16百万円
四半期純利益	950	6.1	939	5.4	△1.2	

本資料お取扱に関してのお願い

- 本資料は弊社をご理解いただくために作成したもので、弊社への投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願い致します。
- 本資料は正確性を期すために慎重に作成しておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、弊社は一切責任を負うものではありませんのでご了承下さい。
- 本資料中の業績予想及び事業計画等の将来の見通しは、作成時点で入手可能な情報から作成しておりますが、事業環境が大きく変動することも考えられることから、実際の業績が見通しと大きく異なる可能性があることをご了承下さい。

**説明会にご出席いただき
ありがとうございました。**



株式会社ワークマン
銘柄コード: 7564(JASDAQ)

お問い合わせ先: 経営企画部IR室

TEL: 03-3847-8190

E-mail: wm_seibi@workman.co.jp

<http://www.workman.co.jp/>